

つくる健康



京都医療生協

第181号 2016年(平成28年)10月15日
発行所/京都医療生活協同組合
京都市中京区聚楽廻東町2番地
視力センタービル地階
☎075(822)2286 FAX075(822)6133
発行責任者/山田 亮三



京都医療生協理事長
山田 亮三

熊本震災の余波さめやらぬ中、今度は台風による記録的豪雨禍にみまわれました。被災者の方々

長寿社会における眼科医療の役割 より信頼される眼科をめざして

中野眼科を開設して、では、十月十一月を中組みます。これはわが国で「生協法」が施行され、

京都医療生協・中野眼科 組織強化月間にあたって

した全国的運動の一環です。強化月間では、組合員向けの事業や患者さん・市民の皆さん向けのイベントの実施を通して、医療生協の活動趣旨を見つめ直し、さらに新規加入を促進します。これを機に京都医療生協への加入をお願いします。

に、心からお見舞いを申上げます。熊本震災の余波さめやらぬ中、今度は台風による記録的豪雨禍にみまわれました。被災者の方々

新たな社会の創造を。戦後七十一年、世界は閉塞感に覆われていました。テロの連鎖を断ち切るには、人の心に希望を灯し、絶望を無くすことです。情報技術・人工知能等の科学技術革新が契機となり、「人を大切にする政策」が新たな社会を創造することを願います。

長寿生活を支える感覚器。百寿者が人口十万人に五十二人という、人類未だの社会の到来です。健康長寿には、がん・心臓疾患・糖尿病・慢性閉塞性肺疾患や精神衛生等の対策に加えて、運動器にも感覚器(目は外界情報の九割を担う)が

健康大学 「おいしさの科学」にご参加下さい

健康大学

「おいしさの科学」にご参加下さい

医療生協・中野眼科では、学を例年開催しております。患者さんや広く市民のみならず、今年秋は「おいしさ」研究の第一人者として人気の伏木亨先生(龍谷大学農学部教授)が講師にお招きします。多数の方のお申し込みをお待ちしています。参加費無料。

聴講のおすすめ

日本臨床眼科学会併催の一般市民向け講座

中野眼科が毎年開催している「健康大学」のうち、眼科緑内障は現代の失明原因の関連分野については、「市民第一」にあげられます。東大教授/相原一さんのお話を聴け

無料眼科健診ご案内



受診者の健診にあたる藤田裕美医師

医療生協・中野眼科では今年も無料眼科健診を実施します。自覚症もありませんうちに病気が進む一回の眼科専門医による健診によって、病気の悪化が防げます。無料眼科健診では、視力、眼圧、血圧等検査し、藤田裕美医師が前眼部や眼底などを診察し、目の病気の有無をお伝えします。

日時：十一月八日(木)午後二時
場所：中野眼科本院(千本丸太町西南角)
申込：中野眼科受付または京都医療生協事務局まで

「患者さん第一」の姿勢で

中野眼科は、日帰り白内障手術・緑内障診療・硝子体内注射などの専門診療、その他の一般診療を担います。本院を中心に、五診療所が連携し、「患者さんが第一」の立場で、地域のみなさんに「患者さんが第一」の立場で、地域のみなさんに、中野眼科を支援して下さいますようにお願いいたします。

遠近両用コンタクトで毎日をもっと快適に!

2週間交換型ソフトコンタクトレンズ
2 WEEK Menicon Premio
遠近両用

国産

1箱6枚入り

近距離から遠距離までバランスよく見えるデザインと近距離の見え方を重視したデザインの組み合わせであなたの生活シーンに合った見え方をサポートします。

近距離	中距離	遠距離
手元の小さな文字もくっきり。	パソコンの画面などはっきり見やすく。	電車の掲示板など遠くもくっきり。

販売名:2WEEKメニコン プレミア 医療機器承認番号 22300BZX00094 ※見え方、装着感、うるおい感には個人差があります。



国語辞典で遊ぶ。仮に易しい「健康」という言葉を引きつめてみる。健康か、丈夫、健全と出てくる。その前に、体に悪い所がなく「元氣」なこと、と説明されている。この言葉の説明の中から一つの言葉を選んで、続いて活動の源になる「氣力」。氣力とは物事を成し遂げようとする「精神」の力。精神とは人間の心、また物事の「根本」の意義。根本とは物事がそこから出発して成り立っている一番「大切」なこと。大切とは値打ちが大いさ。…こんなふう

第三十回日本高齢者大会へ

代表者を派遣

八月二十八日(日)～二十九日(月)の二日間、にわたり、第三十回日本高齢者大会が東京都内で開催され、全国から五千

人を超える参加者があり、京都からは四十二人が参加、第一回以来毎回代表者を派遣している京都

日本高齢者大会に参加して

南丹市 村岡 穆さん



医療生協からは、総代 岡穆さんと藤本豊久さん(保事協グループ)の村岡穆さんが参加しました。



第30回日本高齢者大会の会場風景

戦前戦後の困難な時代を生き抜いてきた五千人を超える高齢者が、一同に会するこの大会は、私がかつて参加した中でも最も規模の大きなもので、平素、国や行政から邪魔者扱いされている高齢者も、要求を掲げて結果集すれば、こんなにも大きな力を発揮できるのだということを示すとともに、その長年にわたり培われた知恵と体験は、いまこの国が直面している

さまざまな課題を解決するのに不可欠であるという想いを新たにさせるものでした。大会一日目、私は当初予定していた学習講座が満席で入れなかったため、すぐ隣の分科会「地域の『あし』をどう確保するか」交通権の保障をめざして」に参加しました。飛び入りのため、予備知識や準備があったわけではなかったのですが、各地の医療生協をはじめとする参加者の地域の買物や通院の「あし」を守るためのコミュニティバスやデマンドバス運行の取り組みはとて興味深いものでした。とくに、大阪の特別報告では、市当局の民営化推

進方針の下、危機に瀕している公共交通、「赤バス」廃止やバス路線の切り捨て、敬老バスの有料化などによって、高齢者の生活、通院の「あし」が奪われている実態が明らかにされ、この問題が決して過疎地域だけでなく都市部でも深刻化していることに驚かされました。分科会のコメントター/愛知大学の可児先生から、地域の「あし」の確保は国や自治体の責

務であり、誰でもが好きな時に好きな場所に行ける交通権は、日本国憲法に定める幸福追求権、生存権、移動の自由などの基本的人権を集合した新しい人権であるという提言がありました。この問題を考える上で重要なポイントであると思えました。大会二日目、鳥越俊太郎さんは記念講演の中で、都知事選挙に触れて、「日本国民の風にならなければならない文化」に言及されましたが、かつてのナチスの台頭や我が国の軍部独裁を招いたこの「文化」が、劇場型と言われる今日の政治や選挙の中にも少なからず見受けられ、これを克服するには、私たち自身がまず「正しいことは正しい、間違っていることは間違っている」と声を上げることが大切であると痛感しました。



©JPN-TENPOZANGALLERY-OMORISUNJI

診療所のある街角で 〔大極殿遺跡〕

中野眼科本院から丸太町通を隔てた北向いの公園に「大極殿遺跡」石碑があります。この辺りは平安宮の大内裏があったところ、つまり千年の都の中心地に中野眼科本院が今建っているのです。ちょっと自慢したい気分です。(大森 俊次)



「戦後史の決定的瞬間」

—写真家が見た激動の時代

掲載写真のうち何枚かは見た記憶がある方も多いでしょう。ベトナム戦争で、戦火を避けて、川に逃れた親子らをとらえた「安全への逃避」は、その一枚と想います。中にはチャンバラごっこ写真もあります。鼻水を出して遊ぶ東京・木場の子供たち。何気ない昭和三十一年代初頭の一光景が、強い和太鼓演奏と四百人の高齢者大合唱団の歌声に励まされて会場を後にしました。

戦後の苦難と、近づく公書、ベトナム戦争、原高度成長の世を想像させます。時代は豊かさ劇など全九章、戦後七と貧困、平和と争いな十年の歩みをモノクロど、新しい光と影を映の貴重な写真からたどし出して過ぎていきまる戦後史の一冊です。たった一枚の写真開き、その全貌を示してくれることがあります。それは写真家が命をかけて現場の最前線。同書は、戦後、活で時代の決定的瞬間を躍した写真家十四人の捉えているためです。そんなことも感じます。著者は共同通信の編集委員。ちくビュも交えて時代の断面を見せてくれます。原爆投下と敗戦、税。(松本 忠之)

「百まで生きよう会」

二十五周年を記念して



中野信夫先生の提唱で、組合員の皆さんが運営されてきた「百まで生きよう会」がめでたく二十五周年を迎えました。去る六月二十四日(金)、東山区の京新山にて「二十五周年記念懇親会」が多数のご参加のもとで開催されました。当日は山田亮三理事長、馬場恵津子前常務理事も臨席され、踊りや歌、都都逸まで飛び出す賑やかな楽しい会となりました。

▼組合員交流集会

「いま面白い！」

京都の歴史」のご案内

医療生協・中野眼科 多数ご参加いただきました。組織強化月間のすようご案内します。取り組みの一つとして、組合員の皆さんが楽しく交流するためのイベントを例年企画して好評を得ています。今年には山田邦和先生(同志社女子大学教授)を講師に、京都人に知って欲しい「いま面白い! 京都の歴史」と題した講演会を開催します。是非とも

中野眼科／一斉休診のお知らせ

今年度の年末年始は、中野眼科のすべての診療所で、12月30日(金)から1月4日(水)までの6日間が一斉休診となります。どうぞよろしくお願いいたします。

中野眼科の診療時間ご案内

●本院 (千本丸太町西南角)	
月～土	10:00～17:30
休診日=日・祝日	
●四条分院 (四条大宮西南角・日本生命ビル2階)	
月～金	10:00～13:00 14:00～19:00
土	10:00～13:00 14:00～18:00
日	10:00～13:00 14:00～17:00
休診日=祝日	
●朝日会館診療所 (河原町三条上ル東側・京都朝日会館7階)	
月～金	10:00～13:00 14:00～19:00
土	10:00～18:00
日・祝	10:00～13:00 14:00～17:00
休診日=火	
●京都駅前診療所 (烏丸七条下ル西側・駿河屋ビル4階)	
月～金	10:00～13:00 14:00～19:30
土	10:00～18:00
日・祝	10:00～13:00 14:00～17:00
●大徳寺前診療所 (北大路大宮西南角・京都視力センタービル2階)	
月・水・金	10:00～13:00 15:00～18:00
火・土	10:00～13:00
休診日=木・日・祝日	

保険で良い医療を

「国民健康保険法が改正され国民皆保険体制が確立された一九六一年から五十五年を経た今、財政支出と個人負担の綱引きはいよいよ苛烈に。